

# 粕屋町行政評価委員会 意見書

平成 29 年 11 月 15 日

粕屋町行政評価委員会

平成 29 年 11 月 15 日

粕屋町長 因 辰美 殿

粕屋町行政評価委員会

会長 中 島 邦 彦

粕屋町行政評価委員会におきまして、粕屋町行政評価委員会設置要綱第 2 条に基づき、町が実施した平成 28 年度の行政評価について、外部の視点で評価を実施し、その結果を取りまとめましたので、次のとおり報告し、意見書を提出いたします。

本委員会では、第 5 次粕屋町総合計画基本計画に基づく施策について、平成 28 年度における取り組み、評価結果等の概要を評価シート及び質疑応答により確認し、外部評価の対象施策とした次の 2 施策について、主に点検・調査・審議を行い、各委員による評価を行いました。

- ・施策体系（1－1－2） 人と地域が輝くまちづくり活動の推進
- ・施策体系（2－2－1） 安全で快適な道路ネットワークの充実

■総合計画の施策体系（１－１－２）■

基本目標 1	つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまち
政策 1	地域のつながりを大切にしまちづくり
基本施策（２）	人と地域が輝くまちづくり活動の推進

1. 委員会における施策の選定理由

第5次粕屋町総合計画では、これまでの基本理念を継承しつつ、これからの新しい時代に向けて、さらに協働のまちづくりを進めるとして、「協働でつくる安心のまち」を新たな基本理念として定めている。町民、地域と行政が役割を分担しながら、地域の課題解決を図っていく施策における取り組みは、今後の地域社会において重要であると考え、外部評価の対象とした。

2. 委員会の評価結果及び意見等

本施策に関する委員会としての外部評価の結果は、以下のとおりである。

<b>(1) 総合計画の進行管理（施策実現への進捗状況）</b>	
<b>① 施策実現への取り組みが行われているか？</b>	
着実に取り組まれており評価できる	10%
取り組まれているが、まだ改善の余地がある	90%
取り組みが不十分であり対策が必要である	0%
取り組みがなされていない	0%
<b>② 施策の実現に向かって、進捗しているか？</b>	
計画以上に進んでいる	0%
計画どおり順調に進んでいる	50%
進んではいるが、スピードが遅い	50%
進捗が見られない、または後退している	0%
<b>(2) 内部評価の妥当性について</b>	
適切	20%
概ね適切	60%
要検討	10%
無回答	10%

(1) 総合計画の進行管理（施策実現への進捗状況）

① 施策実現への取り組みが行われているか？

施策実現への取り組みが行われているかについては、委員全員が取り組まれていると評価しているが、まだ改善の余地があるという評価が90%であった。

また、各委員から次のような意見があった。

- ・ 町の規模からすると十分なまちづくり団体が活動しており、各団体への助成

金もきちんと交付されている。

- ・ まちづくり活動支援室の開設や寺子屋教室の普及への協力など、理想的な対策がなされている。
- ・ しっかりと課題を認識しており、町として働きかけや支援は充分に行われていると感じた。固定概念にとらわれず、細かく分析し、具体的な計画や大胆な改革に期待したい。
- ・ 「人と地域が輝くまちづくり活動の推進」に向けて、適切に取り組まれていると思う。町民意識調査の「ボランティアなどのまちづくりに参加したいと思う方」を増やす取り組みが必要ではないか。
- ・ 支援室開設や新規団体の掘り起こしなどの取り組みは進められているが、支援の方法など改善できる部分もあると思う。
- ・ 現状の把握、課題の認識は正しくなされているが、住民への情報発信は不十分である。今後の対応は検討・計画されているので、速やかな実行をお願いしたい。
- ・ 実感指標「まちづくりに参加したいと思う町民の割合」は当初値よりも1.5ポイント上昇しているにもかかわらず、客観指標のうち「ボランティアセンター登録者数」は減っており、目標値を達成するまであと65人といった状況にある。「町民意識調査」の結果等を踏まえて、取り組み内容を検討する必要があると思われる。
- ・ 様々な取り組みがなされていることは分かったが、必ずしもその効果が現れていないと考える。
- ・ 町内にある企業等がまちづくり活動に積極的に参画しているとは思えない。

## ② 施策の実現に向かって、進捗しているか？

施策の実現に向かって進捗しているかについては、委員全員が進んでいると評価しているが、「計画どおり順調に進んでいる」と「進んではいるが、スピードが遅い」という評価に分かれた。

また、各委員から次のような意見があった。

- ・ 課題の認識がはっきりとされているため、適切に事業が行われており、今後の施策にも大いに期待ができる。
- ・ 各事務事業は、「まちづくり活動支援室」の開設等、効率的に進められていると思う。
- ・ 順調に進んでおり、担い手の育成においても団体間で連携がとれている。
- ・ 施策実現に向けては担当課だけでなく、関連する他の課との連携も必要である。類似した事業は協働して、住民ボランティアが活発に活動できるよう促してもらいたい。
- ・ 婦人会などは各区で自由に活動しているが、町の婦人会などとの交流を行うことでもう少し活発な活動ができるのではないか。（※防犯、防災、青少年

育成、青年団の育成にもつながるのでは)

- ・ 報告いただいた事業は順調に進んでいるようだが、その他の事業については判断できない。
- ・ 全ての事業において、迅速な対応を期待する。
- ・ 特に、「まちづくり活動支援事業」において、活動指標、成果指標ともに、実績値が目標を下回っている。とりわけ啓発活動に関しては、目標値 15 回のうち 5 回しか行われておらず、取り組みが不十分、「スピードが遅い」と言わざるを得ない。
- ・ 課題（問題）解決に向けた方策・提案が抽象的であるため、施策の実現性を想像しがたい。問題解決に有効的な施策の企画立案が必要であると考える。

## (2) 内部評価の妥当性について

内部評価の妥当性については、「適切」、「概ね適切」をあわせて適切であるとの評価が 80%であった。

また、各委員から次のような意見があった。

- ・ 説明も非常にわかりやすく、適切に評価されていると思われる。
- ・ 職員が実際にスタッフとして活動しているところに行政と町民の結びつきの強さを感じられる。これからもぜひ続けて問題解決に向けて頑張ってもらいたい。
- ・ 協働のまちづくりを進めていくために、まちづくり活動支援室が開設されたことは評価したい。今後、その役割、活動に期待したい。
- ・ 今後の方向性や次年度以降の方策は妥当である。速やかな実行をお願いしたい。
- ・ 各事務事業の課題（問題）解決に向けた具体的な方策・提案は、妥当だと思う。
- ・ 今後の方向性に関しても概ね適切である。
- ・ 少しずつ成果が出ていると思う。今後も計画実現に向けて住民の方に情報発信をしていくことが大切だと思う。
- ・ 事務事業の成果指標・活動指標が、当該事務事業の進捗状況を客観的に評価できる指標とは言い難く、また項目も乏しいため、適切な評価ができるのか疑問である。

## (3) その他意見等

その他の意見等としては、次のようなものがあった。

- ・ 職員の方が現場をよく分かっており、他町との比較もされ、分かりやすい説明だった。
- ・ 事務事業シートはわかりやすい内容となっている。
- ・ 住民への積極的な情報発信をお願いしたい。

- ・ 「まちづくり活動支援室」と社会福祉協議会の関係（住み分け）を明確にしたほうが良いと思う。
- ・ 地域の寺子屋への取り組みが必要だと思う。
- ・ 青年団と婦人会の活性化が必要だと思う。
- ・ 評価を行うにあたって、その根拠となる資料や説明の不足を感じた。例えば、「まちづくり活動支援事業」において、「まちづくり活動団体支援数」が当初値よりも2団体増えて9団体になったとの報告は受けたが、それぞれがどのような団体で、具体的にどのような活動を行っており、どのような成果を上げているのかを見ない限り、この事業の妥当性を評価するのは難しいであろう。「事務事業シート」等、限られた紙幅のなかで、すべての情報を記載し説明することができないことは理解しているつもりであるが、例えば追加、参考、補足資料といったような形で、説明が行われることを望む。
- ・ 社会教育事業の取組詳細について、口頭説明だけでなく、資料配布があればもっと分かりやすかった。
- ・ 町内に気軽にお茶などをする憩いの場所がない。特に駕与丁公園周辺は必要だと思う。多くの方から声を聞く。

### 3. 本施策に係る外部評価のまとめ

協働のまちづくりに関する本施策は、第5次粕屋町総合計画の中で新たな基本理念として注力されていることもあり、取り組みに関しては委員全員が取り組まれていると評価した。改善の余地があるとした意見では、住民への情報発信や、ボランティアへの支援方法に関する意見があった。進捗に関しては、半数が進んではいるが、スピードが遅いと評価した。スピードが遅いとした理由では、事務事業シートにおける活動指標が目標値を下回っていることや、青年団や婦人会などの活性化を望む意見があった。内部評価の妥当性については、今後の方向性或次年度以降の方策など、適切であるとの評価が多数であった。

今後改善すべき課題として認識されているとおり、平成29年度に開設したまちづくり活動支援室を活用し、まちづくりに参加したいと思う町民の受け皿となり、団体間の連携構築や広報活動の強化に取り組まれることを期待したい。

■総合計画の施策体系（２－２－１）■

基本目標 2	都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち
政策 2	安心で快適な生活基盤を備えたまちづくり
基本施策（１）	安全で快適な道路ネットワークの充実

1. 委員会における施策の選定理由

第5次粕屋町総合計画の策定にあたり町民意識調査を実施した結果をみると、「今後のまちづくりを進めていくうえで、重点的に取り組む必要があると思うもの」について「安全で快適な道路整備の徹底」が32%と最も高い回答結果となっている。粕屋町は交通の利便性の高さが特徴の町ではあるが、交通量が増え、慢性的に渋滞が発生しやすい状況になっていることや、生活道路や歩道等の身近な道路環境の改善、子どもが安全・安心に通行できる道路整備に係る施策は住民にとって関心が高いため、外部評価の対象とした。

2. 委員会の評価結果及び意見等

本施策に関する委員会としての外部評価の結果は、以下のとおりである。

<b>(1) 総合計画の進行管理（施策実現への進捗状況）</b>	
<b>① 施策実現への取り組みが行われているか？</b>	
着実に取り組まれており評価できる	10%
取り組まれているが、まだ改善の余地がある	80%
取り組みが不十分であり対策が必要である	10%
取り組みがなされていない	0%
<b>② 施策の実現に向かって、進捗しているか？</b>	
計画以上に進んでいる	0%
計画どおり順調に進んでいる	10%
進んではいるが、スピードが遅い	80%
進捗が見られない、または後退している	10%
<b>(2) 内部評価の妥当性について</b>	
適切	10%
概ね適切	70%
要検討	20%

(1) 総合計画の進行管理（施策実現への進捗状況）

① 施策実現への取り組みが行われているか？

施策実現への取り組みが行われているかについては、「取り組まれているが、まだ改善の余地がある」という評価が80%であった。

また、各委員から次のような意見があった。

- ・ 十分な取り組みがなされており、次年度以降は福岡県と連携を行うことで、

更に効率的な取り組みが期待できる。

- ・ 現状の把握、課題の認識は正しくなされているが、住民への情報発信は不十分である。今後の対応は検討・計画されているので、速やかな実行をお願いしたい。
- ・ 「安全で快適な道路ネットワークの充実」に向けて、適切に取り組まれていると思う。町民意識調査の「円滑に車で通行できる道路網が整備されていると思わない方」が多いので、住民が期待する水準に達していないと思う。
- ・ 「安全で快適な道路ネットワークの充実」に向けて、各種事業が取り組まれているが、全般的に実績値が目標値を下回っている状況にある。
- ・ 取り組みはなされていると思うが、結果的に成果目標の達成度、実際に道路環境が良くなったとの実感ともに表れていない。
- ・ 進捗の遅れについて質問された際、目標値の設定のほうが大きくしすぎた旨の回答があり、現状の把握が不十分なのではないかと感じられた。
- ・ 町民意識調査の結果だけでなく、道路環境整備については、多くの住民が不十分であると実感していると考える。

## ② 施策の実現に向かって、進捗しているか？

施策の実現に向かって進捗しているかについては、「進んではいるが、スピードが遅い」という評価が80%であった。

また、各委員から次のような意見があった。

- ・ 幹線道路の整備など、利便性においては確実に向上しており、計画どおりであると考えられる。
- ・ 各事務事業は、「道路整備」等、効率的に進められているが、早期完成を目指す必要がある事務事業もあると思う。
- ・ 近年の人口の増加、渋滞箇所の増加は予想以上のスピードで進行しているため、それに対する施策も同様にスピードを上げなければ追いつかないのではないか。
- ・ パトロール、用地買収、工事など、業務が多岐にわたるため、予算との兼ね合いの中、優先順位をつけるのは難しい作業であると理解しているが、子どもが多い粕屋町では安心・安全のために効率良く業務を遂行して頂きたい。
- ・ 住民アンケートでも「安全で快適な道路整備の徹底」が1位なので、迅速な対応を期待する。
- ・ 客観指標「防護柵の設置延長」について、28年度末の値は当初値よりも49m伸びているが、目標値まで2,700mほど設置する必要がある。1年間で49mの延長しかなされていない中、今後4年間で2,700mも延長できるのか。つまり、目標を達成するための方策や、目標達成のための見通しが不明であると思われる。
- ・ 歩行者が安心、安全に歩ける道がまだまだ少ない。

- ・ 施策の実現が後退しているとまでは言えないにせよ、事務事業の成果指標・活動指標は当初値に比べて低下、または、ほぼ横ばいの状況であり、平成28年度事業の目標値と実績値を比較しても進んでいるとは言い難い。

## (2) 内部評価の妥当性について

内部評価の妥当性については、「適切」、「概ね適切」をあわせて適切であるとの評価が80%、要検討とする評価が20%であった。

また、各委員から次のような意見があった。

- ・ 成果目標において、正しい目標値と評価が下されており、適切である。
- ・ 最も大変な部ではないかと思われる中で、しっかりと問題の認識がなされていると思う。
- ・ 道路パトロールや地元の要望等により、情報収集を行い、町民の声を事業に反映させている点は評価される。今後も着実な道路環境の整備が行われることを期待したい。
- ・ 今後の方向性や次年度以降の方策は妥当である。速やかな実行をお願いしたい。
- ・ 各事務事業の課題(問題)解決にむけた具体的方策・提案は、妥当だと思う。
- ・ 地元住民の要望にどう検討し回答しているか、指標の中で示されておらず、成果量での評価だったため、分かりづらい部分があった。
- ・ 道路環境に関して、あるべき姿を示す町としてのビジョンが何も見えない。目標設定がない中では、事業が進捗しているのか、客観評価はできないのではないか。

## (3) その他意見等

その他の意見等としては、次のようなものがあった。

- ・ 事務事業シートはわかりやすい内容となっている。
- ・ 事業を計画どおり進めるには、町民の皆さんの協力がなければ進まないで、これからも大変でしょうがよろしくお願いします。
- ・ 指標の設定根拠が不明確で、実績との関係がわかりにくいと思う。
- ・ 交通渋滞の緩和は住民にとって大きな関心事なので迅速な対応を期待する。
- ・ 住民の意見の収集、住民への情報発信等を積極的に行っていただきたい。
- ・ 一般住民からの直接の要望にも適切な対応を望む。
- ・ 実感指数「道路が円滑に通行できると思う町民の割合」は、当初値よりも3.8ポイントも下がっており、町民の1/4弱しか道路が円滑に通用できると思っていない(24.8%)。また、町民の半数以上が「思わない」と回答している状況にある(55.8%)。「町民意識調査」の結果をふまえ、校區別、年齢別で町民がどのように感じており、どのようなことを町に要望しているのかを再度検討し、事業の内容と、町民の要望とのミスマッチをなくすような、

町民の満足度を高められるような事業の優先順位のあり方を検討されたい。

- ・ 住民側の「不便さを改善してほしい」と感じているところと、行政側の専門知識で情報収集し分析しているところのズレを感じた。

### 3. 本施策に係る外部評価のまとめ

町民が重点的に取り組む必要があると思う「安全で快適な道路整備の徹底」に関する本施策の取り組み・進捗について、改善の余地がある・スピードが遅いと評価するものが多数であった。幹線道路の整備による利便性の向上などは評価するが、生活道路や歩道などが住民の期待する水準に達していない、近年の人口や交通量の急激な増加に追いつくためにスピードをもって対応する必要があるなどの意見があった。内部評価の妥当性で不適切としているものの中には、地元要望に対してどのように対応しているか不明瞭である、道路環境に関するビジョンが見えないなどの意見があった。

なお、外部評価シート記入後の会議において、客観指標である「防護柵の設置延長」に関し、本来は年間の設置距離を指標値とすべきであるところ、撤去を含んだ総距離を指標値として設定していたため、目標達成の目途が立たないような実績値が計上されたとの説明を受けた。本施策の評価において、そのために評価が低くなった一因となったことを申し添えるとともに、次回の評価においては指標の設定について再検討されたい。

## ■ 総 括 ■

本委員会は、町が実施する行政評価について、総合計画の進行管理を行い、客観性の一層の向上を図り、信頼性を確保するために、行政外部の有識者及び町民の視点で審議し、評価を行っています。

今回は第5次粕屋町総合計画初年度の行政評価ということもあり、施策の取り組みや進捗状況について、判断が難しいところもありましたが、事務事業シートの実施内容の説明などに工夫が見られました。しかしながら、施策としての評価をする上で、施策や事務事業の指標（アウトプット・アウトカム）だけでは評価ができないとの意見もあり、次年度の行政評価においては、外部評価の対象となる施策に関し、担当部署による説明や質疑応答の充実を望みます。

また、内部評価としての行政評価は改善が施され、評価シートなどの充実度が高まっていますが、本来の目的である評価結果を踏まえた施策及び各事務事業の見直しにあっても、積極的に取り組まれ、今後の行政運営に反映していただくように望みます。

粕屋町の一層の発展へ寄与することに期待を寄せ、平成29年度粕屋町行政評価委員会の意見といたします。

## 粕屋町行政評価委員会 名簿

区 分	氏名	所 属
学識経験 のある者	◎	中島 邦彦 九州大学大学院 教授
	○	宗像 優 九州産業大学 教授
町の区域内の 公共的団体の 役員又は職員		坂田 龍二 区長会
		安河内 勇臣 農業委員会 会長
		八尋 徳子 婦人会 会長
		中尾 和子 商工会 女性部 副会長
		萩尾 浩記 SUN <sup>2</sup> かすや新風会 会長
		長 順子 子育て応援団 代表
公募等による町民		森 義範 公募委員
		西田 寛貴 公募委員

◎=会長、 ○=副会長

## 粕屋町行政評価委員会 開催経過

平成29年度の粕屋町行政評価委員会の会議開催日・内容及び外部評価の経過等については、下表のとおりです。

回数	開催日等	内 容
第1回	日時：平成29年10月5日（木） 午後3時から 場所：粕屋町役場3階 31会議室 出席：10名（全委員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政評価制度の説明</li> <li>・平成28年度施策の概要説明</li> <li>・外部評価対象とする施策選定</li> </ul>
第2回	日時：平成29年10月19日（木） 午後3時から 場所：粕屋町役場3階 31会議室 出席：9名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部評価対象2施策の評価内容の説明及び質疑応答</li> </ul>
第3回	日時：平成29年11月2日（木） 午後3時から 場所：粕屋町役場2階 防災会議室 出席：10名（全委員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部評価総括</li> </ul>